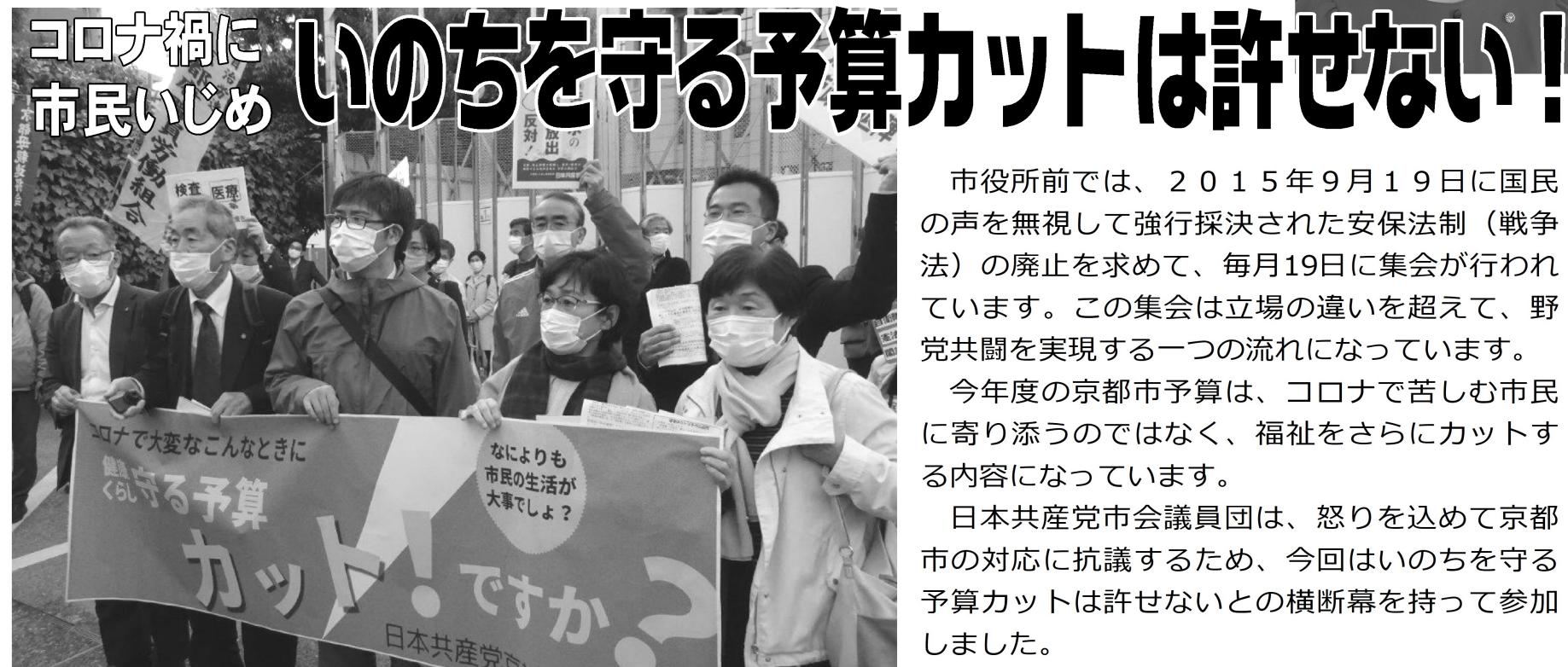


くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 京都市会議員 西野さち子です！

発行：2021年5月16日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



市役所前では、2015年9月19日に国民の声を無視して強行採決された安保法制（戦争法）の廃止を求めて、毎月19日に集会が行われています。この集会は立場の違いを超えて、野党共闘を実現する一つの流れになっています。

今年度の京都市予算は、コロナで苦しむ市民に寄り添うのではなく、福祉をさらにカットする内容になっています。

日本共産党市会議員団は、怒りを込めて京都市の対応に抗議するため、今回はいのちを守る予算カットは許せないと横断幕を持って参加しました。

「コロナ対策」第14次の緊急申し入れを行いました

共産党市会議員団は、「まん延防止等重点措置」が出されてすぐに、市長に対して第14次の緊急申し入れを行いました。これまでの申し入れで、改善された対策もあります。PCR検査の拡充やすべての事業者支援、生活困窮者支援やワクチン等についての申し入れをしました。危機管理監は「いただいた要望は関係各局、担当部署にしっかりと伝える。ブレーキを踏むだけでは、市民生活と経済が死んでしまう。そうならないように国に求めていく。共産党議員団ともしっかり議論していきたい」と話しました。



議員日誌

議会報告会を開催

醍醐自治会館

5月9日に醍醐中学校区の議会報告会が開かれました。お借りした醍醐自治会館は、天井や壁、床を抗菌仕様にしてあるとの事です。受付では検温と手指の消毒をし、椅子の間隔をあけてソーシャルディスタンスにも気を使っての開催でした。



馬場府会議員からは、京都府が進める北陸新幹線計画や植物園を中心とした地域の開発計画についての問題点の報告が、西野市会議員からは、2月議会で共産党市会議員団がなぜ予算の組み替え提案をしたのか、京都市が進めようとしている福祉切り捨ての内容などについて報告がありました。

参加者からは「市町村合併して周辺部はますます不便になっている」「大岩街道の産廃不法投棄を最後まで取り締まるべき」「前回の衆議院選挙で共産党は議席を減らしたが、もう少しの得票増があれば議席に結びついたと聞く」等のご意見がだされ、馬場府議、西野市議から説明があり、「10月までにある総選挙では、日本共産党への支持を広げてください。野党共闘を進め政権交代を実現しましょう」と訴えがありました。

地球温暖化ストップ！ 気候マーチ

菅政権がすすめる原発の再稼働。福島の原発事故が無かったかのようなエネルギー政策に市民からは怒りの声が上がっています。若者たちが中心になって、市役所前で集会を開き、パレードをする計画に共産党議員団はダンボールで横断幕をつくりました。コロナ感染が広がる中、パレードは急きょ代表だけに絞り行われました。

